

平成27年 第1回 議会定例会

一 般 質 問

1. 10番 多田 育民
2. 1番 岩崎 成子
3. 6番 軍司 俊紀
4. 3番 松尾 榮子
5. 8番 藤村 勉

議席 10 番 多田 育民 議員

【質問 1】 印西クリーンセンターの立替え問題について

- (1) 吉田地区への取付道路はどうなっているか。
- (2) 地元自治会との折衝状況はどうか。
- (3) 今後の進め方について、2つの検討委員会をつくることなどが考えられているやに聞き及んでいるが、具体的にはどうする予定か。

【質問 2】 現施設の延命化対策について

- (1) 具体的な方針はいつ頃出せるのか。
- (2) その費用はどれくらいか。

議席 1 番 岩崎 成子 議員

【質問 1】 印西クリーンセンター次期中間処理施設について

(1) クリーンセンター次期中間処理施設建設候補地として、組合管理者、副管理者は印旛地域の吉田地区を選定しました。候補地として選定した経緯等について管理者、副管理者の考えを伺います。

(2) 現在、周辺住民説明会を実施し、関係町内会組織と事業を推進する基本的な合意書「基本協定書」の締結に向け進めていることと思います。施設建設事業の進捗状況を伺います。

(3) 次期中間処理施設が建設され稼働するまで最短で平成 35 年度と想定されていますが、その間、現施設の延命化を図っていかなければなりません。組合として、機器等の延命化についての認識を伺います。

(4) 次期中間施設建設の稼働が当初の予定より 5 年ほど遅れるが、現施設周辺の住民に現施設の安心・安全性等についての説明は、充分に行っているのか伺います。

【質問2】 印西地区一般廃棄物最終処分場について

- (1) 当初の計画より15年程、延長して利用できる見通しの最終処分場への地元の皆様の理解と協力について伺います。

【質問3】 小型家電リサイクルについて

- (1) 小型家電に含まれている貴重な金属であるレアメタルの確保が求められている現在、印西地区においてもレアメタルの回収を推進するために小型家電の回収が実施されると伺っています。実施されることを踏まえ、今後のスケジュールと構成市町との連携について伺います。

議席6番 軍司 俊紀 議員

【質問1】印西地区環境整備事業組合では、用地検討委員会からの答申を受け、建設候補地選定会議（管理者・副管理者会議）による現地踏査及び協議を経て『吉田地区』を建設候補地として決定した。今後、移転に向けて、いつ、どのような手続きをとっていくのか。

- (1) 吉田地区との協議は今後どのようなスケジュールで進むのか。
- (2) 「建設候補地決定に関する報告会」では、松崎地区からの出席者から反対の声が上っていた。今後、組合として道路計画も含め、どのように移転事業を進めていくのか。
- (3) 現在の「地元還元施設」について、移転にむけてのタイムスケジュールを策定、公表すべきではないかと考えるが、組合はどのように対応していくのか。
- (4) 現施設の延命化に関するスケジュールの変更はあるか。

【質問2】先日、新聞のテレビ番組案内欄の記載内容に『火葬を待たされる遺族加速する“多死社会”一週間待ちの自治体も』と書いてあるのが目に留まった。印西斎場について、以下について質問する。

- (1) 平成26年度の利用状況はどうなっているのか。
- (2) 加速する“多死社会”に向かって組合としての対応は、どう考えているのか。
- (3) 印西斎場へのアクセスに対する苦情が寄せられるが、組合としては対応策はあるか。

【質問3】今月（平成27年2月）から使用済小型家電の拠点ボックス回収が始まった。事業実施にあたって以下を質問する。

- (1) 認定事業者とはどのような契約を行っているのか。
- (2) 構成自治体と十分な意思の疎通を図り、実施することができたのか。
- (3) 住民への周知は充分か。

【質問1】印西地区ごみ処理基本計画に基づく排出抑制の取り組みと成果について
印西地区ごみ処理基本計画は平成26年度から40年度の15年間の計画期間として印西地区のごみ処理に関する計画を定めています。平成26年度はその初年度にあたることから、取り組み状況について伺います。

(1)平成26年度ごみ処理実施計画の進捗状況

- ① 一般廃棄物の処理について（排出量、前年同期比）
- ② 焼却灰の処理について（処理方法別処理量、前年同期比）
- ③ 有害ごみの処理について（処理量、前年同期比）
- ④ 資源物の処理について（処理量、前年同期比）
 - ア、ビン類、ペットボトル、プラスチック製容器包装等
 - イ、缶類の売り上げについて
 - ウ、紙・布類の売り上げについて

(2)ごみ減量化の取り組みと実績

【質問2】次期中間処理施設整備事業について

用地検討委員会の答申を受け、昨年12月、正副管理者会議での協議を経て建設候補地が吉田地区に決定しました。これを受けて組合では周辺町内会との協議を開始し、今年度中を目標に事業開始に向けた協定締結を目指すとのことでした。そこで伺います。

- (1)吉田地区との協議状況
- (2)周辺町内会への対応
- (3)今後の取り組みとスケジュール
- (4)次期施設稼働の目標年度について
- (5)次期施設の規模について

【質問3】現中間処理施設と余熱利用施設について

次期中間処理施設の建設計画が新たな段階に入ったことを受けて、現焼却施設ほかの延命化対策等についても具体的な対応が求められる段階になりました。そこで伺います。

- (1)延命化（長寿命化）計画の現況について
- (2)国交付金等の取扱いについて
平成39年度までの長寿命化計画に基づいて交付金の申請が行われていると思うが、現況と取り扱いについて。
- (3)温水センターの今後と老朽化対策について

議席8番 藤村 勉 議員

【質問1】次期中間処理施設の建設計画について施設規模などはどのようになっているのか。

【質問2】次期中間処理施設が出来るまで現施設の対応をどのように考えているのか。

【質問3】次期中間処理施設の建設費や新施設建設まで現施設の修繕費用について、各市町の負担はどのようになるのか。

議席 2 番 野田 泰博 議員

【質問 1】 板倉管理者が再三議会で明言されている建設場所の腹案は用地検討委員会に文書で提出したのか。もしもお出しになっていないなら委員会が設定した提出期限 3 月 31 日までに提出されるのか。

【質問 2】 板倉管理者が反対していた前任者のクリーンセンター移転建設費総額 200 億円の内訳を示して、板倉管理者の試算した新規の建設案はおおよそどのくらい安くなるように見積もっているのでしょうか。

【質問 3】 9 住区でのゴミ処理施設建設の白紙撤回理由は何であったか。

【質問 4】 現在の駅前一等地（テニスコート用地含む現施設）にゴミ処理施設など絶対に作らせないと明言していたが、その理由は何か。